



今週の  
倫理

9/8(日) まじ！倫理号です。東京のピロの第1巻が来週まで、良から、悪から、  
-安心です、この本が効果た子や、いばせたいか、来週まで、たどつて後  
私はどうなっているのか、誰にも合いません。

2013. 9. 7~9. 13

“今週の倫理” 毎日清掃している感じ、837号

謙に話をするな、いふネ、たに怒って

何んとも思わぬ人もいるので、いばせや何んとも。

幸や、アホ-鳥

保険会社に勤務するTさんは、二十八歳と  
いう若さでありながら、社内ではトップクラ  
スの成績を上げている営業マンです。

入社した頃は、積極的なタイプではなかつ  
たのですが、ある日の通勤列車内での出来事  
がきっかけとなって、自分を変える努力を始  
めたのだといいます。

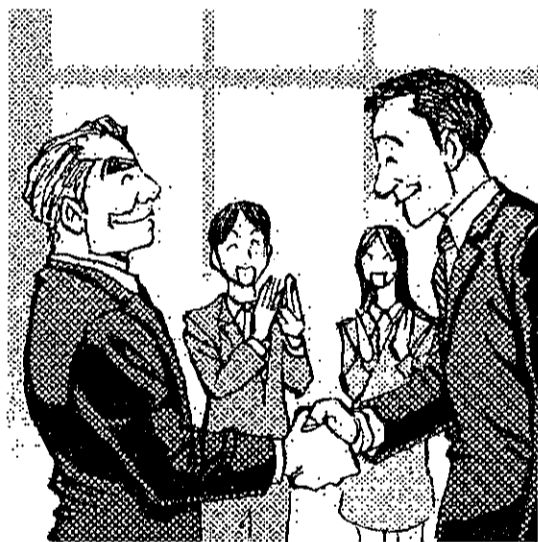
それは土曜日のことでした。平日よりも車  
内は空いていて、通勤客に混じって何人かの  
小学生がいました。

列車は、出発してから最初は順調に進行し  
ていましたが、突然「ガタン」と大きく横に  
揺れたのです。その時、一人の小学生の女の  
子が、隣にいたビジネスマンの足を踏んでし  
まいました。次の瞬間「あつ、ごめんなさい」  
と、大きな声と共に頭を下げたのです。足を  
踏まれた男性も、素直で誠実な姿に、笑顔に  
なつて、「大丈夫ですよ」と応じたのでした。

その光景を目にしたTさんは、へもし、あ  
の子が何も言わず黙ったままだったなら、どう  
なつただろう……。車内は険悪なムードが生じ  
たかもしれない。それが、ひと言を発したこ  
とで、互いに気まずい思いをするどころか、  
親しさと和やかさが醸し出されたんだと感  
じ、日々の自己の態度を振り返りました。

その出来事の半年前から、Tさんは通勤途  
中のバス停で、初老の男性と毎朝すれ違つて  
いました。挨拶をすることはなかったのです  
が、毎日顔を合わせる中で、知らぬ振りをし  
ているのが心苦しく感じるようになってい

## 勇気ある挨拶が 豊かな人間関係を築く



絵・今谷 鉄柱

たのです。

自分よりも年下の子供の姿に刺激を受け、  
ある朝、Tさんは思い切つてその男性へ会釈  
をしました。すると、その男性も笑顔でお辞  
儀を返してくれたのです。

その時、爽やかな気分を感じたことが弾み  
になって、数日後には「おはようございます」  
と声をかけるようになります。さらには「最  
近、お仕事の調子はいかがですか？」などち  
よつとした会話をするようにまでなってい  
きました。

やがて、Tさんと男性は出身地や通ってい  
た学校も同じであることが分かり、二人はま  
すます仲良くなりました。その後、ゴルフを  
一緒に楽しんだり、お互いの自宅へも遊びに  
行くようになりました。

また、男性からお客様をたびたび紹介して  
もらえる間柄にまでなつていったのです。  
営業成績がグングン上昇し始めたのは、ちょ  
うどその頃からでした。

Tさんは「あの列車内での出来事が、自分  
が変わるきっかけになりました。気づきを大  
切にして、言葉をかけて本当に良かったと思  
います」と振り返ります。

言葉はコミュニケーションをより良くす  
るために必要なものですが、私たちはそれを  
いつでも適切に使いこなせているでしょ  
うか。豊かな人間関係を築くために、どのよう  
な相手へも思いやりを込めた言葉を、素直に  
使えるようになりたいものです。